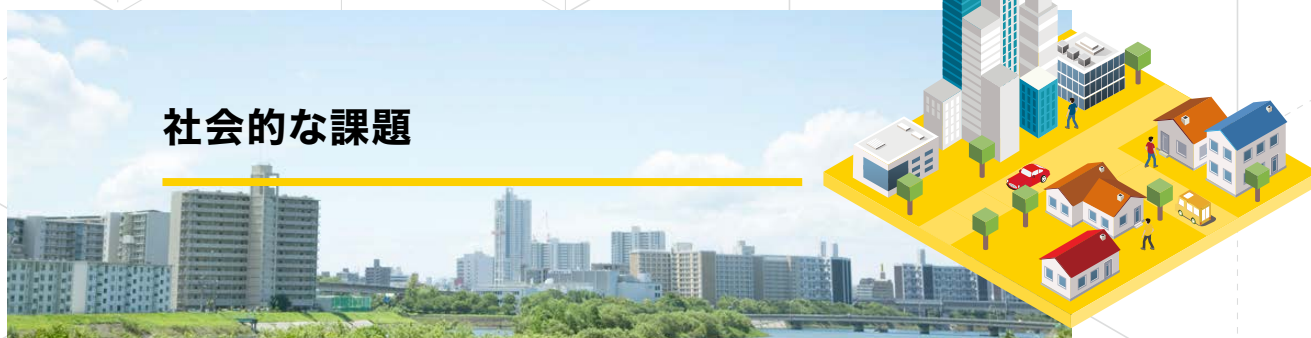


ヤマトグループの事業を取り巻く環境

ヤマトグループを取り巻く事業環境は、大きく急速に変化しています。従来の延長線上で事業活動を展開しては、持続的な成長は実現できません。また、社会的インフラを担う一員として、より深刻化する社会課題に対して、持続可能な社会を実現するための取組みを強化する必要があります。当社グループは、以下の課題認識のもと、さらなる経営構造改革に取り組んでいきます。



社会的な課題



お客様の「期待」「ニーズ」の多様化



産業のEC化の急進展



総人口の減少と地域社会インフラの衰退



労働人口の縮小



気候変動と資源減少

ヤマトグループにとっての課題



▶ 荷物の届け方／受け取り方の多様化だけでなく、より深くお客様に向き合い、新しいサービスを創り出す。

▶ 急進展するEC化の中心に積極的にヤマトをポジションし、高成長の好機と捉える。そのために、経営構造を再構築するとともにデータ・ドリブン経営へシフトする。

▶ 地域のインフラとしてのサプライチェーンを再構築し、ヤマトが根差す地域社会の持続可能性向上に貢献する。

▶ 徹底的な機械化による省人化により、「業務量の増加に対し、人を増やさない経営」をする。

▶ 社会的インフラ企業としてサステナビリティの取組みに対する責任を果たす。